

ドイツから学ぶ 子どもの最善の利益 面会交流の支援



2022年11月29日(火) 18:30 ~20:30

一般
オンラインZOOM



法曹・専門家等
弁護士会館@霞が関



セミナー内容

ドイツ法における親の離別後の子の養育についてのセミナーです。具体的には、別居親と子の面会交流を中心に離別後の子の親権・監護についてや、面会交流・監護方法はどうやって父母がいつ決めるのか、ドイツでは当事者にどのような支援やサポートがあるのかにつき、本セミナーでは講演者にご説明頂きます。また、ドイツでも最も困難とされている高葛藤事案及びDV事案における対応についてのドイツ的アプローチについてもカバーする予定です。講演者は東北大学大学院法学研究科準教授のローツ マイア先生です。

主催：日本女性法律家協会

共催：日本弁護士連合会

神奈川大学共同研究奨励助成研究（代表 井上匡子）

東京国際大学



講演者のご紹介

ローツ マイア 先生

(ROOTS MAIA)

東北大学大学院法学研究科・准教授

11月現在ドイツ・ゲート大学法学部の客員研究員

○最終学歴

2015年3月に博士号（法学）を取得（東北大学）

※ローツ マイア先生は、海外からオンラインで参加されます。



■主要な論文等

1. ROOTS M., BOTTOM-UP ACTION AND HESITANT STEPS TOWARDS ACCOMMODATING MULTICULTURAL CLAIMS IN JAPANESE FAMILY LAW. IN: YASSARI N., FOBLETS MC. (EDS) NORMATIVITY AND DIVERSITY IN FAMILY LAW. IUS COMPARATUM - GLOBAL STUDIES IN COMPARATIVE LAW, VOL 57. SPRINGER 2022, PPS. 119-146

2. ローツ マイア「ドイツにおける面会交流支援のアプローチ付添い交流を中心に」法律のひろば 73巻9号（2020年9月）30-38頁

3. ローツ マイア「父母の別居・離婚後の親子関係一面会交流における「子の利益」を中心に(1)」『法学』（東北大学）第80巻5号60-85頁（2016年）、「(2)」『法学』（東北大学）第81巻3号26-75頁（2017年）、「(3・完)」法学第82巻第4号45頁（2018年）

■申し込み区分・方法

○法曹・専門家等（弁護士会館@霞が関）

PEATIXからお申し込み下さい。

[HTTPS://BEST-INTERESTS-20221129.PEATIX.COM](https://best-interests-20221129.peatix.com)

定員：70名

※霞が関現地での参加は会場広さの関係から、弁護士、その他法曹（ロースクール生）、研究者、支援団体関係者、議員に限定させていただきます。御了承ください。

○一般（オンライン・ZOOMウェビナー参加）

以下URLにアクセスして、ZOOM URLを取得してください。

[HTTPS://US06WEB.ZOOM.US/WEBINAR/REGISTER/WN_MQ7FPE7YTZ2OANASP2L5CW](https://us06web.zoom.us/webinar/register/wn_mq7fpe7ytz2oanasp2l5cw)

定員：1,000名

※遠方の法曹・専門家の方々にオンライン参加を希望の方は、一般の区分にてお申し込みください。



・Zoomウェビナーのサービス・機能等に関するサポートは致しかねます。

・当日、何らかの理由で通信が中断し復旧困難となった場合、やむを得ず中止する可能性があります。PC環境・通信状況等の不具合については主催者では責任を負わず、サポート対応等も行いかねますので予めご了承ください。

・配信内容の撮影、録画・録音はご遠慮願います。